



小栗栖だより

No. 9

行事を通して・・・



10月13日の秋晴れのもと、学校祭体育の部が実施されました。少し涼しくなったものの日差しは夏のそれに近いものがあり、少なからず熱中症の心配もしなければならない良い天候に恵まれました。

前日の準備も、ここ数年教職員のみで実施するという感染症対策をしていましたが、今年度は生徒の力も借りて一緒に準備するという状況に戻りました。体育委員長の力強い「選手宣誓」あと、競技に移りましたが、何より評価したいのは、競技に精一杯取り組む姿勢はもちろん、自分が出でていない競技においては自分の学年のものだけでなく、他学年の競技も応援席に座り、しっかりと応援している姿があったことです。これは合唱コンクールの時にも感じたことですが、こういった姿勢はやはり行事を通しての他学年との交流の中から生まれるもので、見ていてとても好感が持てました。コロナ禍で制限されてきたことが少しずつ戻っていますが、残念ながらコロナ禍の前を知る生徒はもう在籍していません。だからこそ新しい伝統を創るためにもみんなの頑張りがと高い意識が必要となります。クラス数の違いから残念ながら縦割りの競技はできませんでしたが、1年生は3年生の姿を観て、2年後の自分の姿を想像し、さらに良いものにしたいと思ってくれたのではないかでしょうか。来年の学校祭が小栗栖中学校最後の学校祭となります。小栗栖中学校をしっかりと締めくくるためにも、また栄桜小中学校に向けて弾みをつけるためにも全力で取り組んでもらいたいです。



新人戦健闘続く

先月も速報でお知らせしておりましたが、新人戦が始まり、各クラブが健闘しています。サッカーに続き男子バレーボールも予選を突破し、二次リーグに進出しています。他校と合同や、人数ギリギリなど、決して余裕のある戦いではありませんが、最後まであきらめない姿は観ていて頼もしいです。残念ながら負けてしまったクラブも気持ちを切り替えて、春に向けて努力してください。これから冬の寒い時期での頑張りが、春の大会の出来を大きく左右します。目標を高く持ち自分に厳しくあって下さい。



「世代交代」の時期

クラブの話題と同じく、生徒会本部役員も改選の時期となり、先日立会演説会と投票が行われました。各教室にてリモートによる演説を聴いた後に投票し、開票の結果、新本部役員が決定しました。

新たなメンバーとなった生徒会本部役員ですが、令和6年度前期までの任期となり、小栗栖中学校最後の年の取組の中心を担うことになります。閉校に向けた新たなチャレンジや、栄桜小中学校を視野に入れた長期的なビジョンを持った生徒会であって欲しいと思います。その中にこれからは小学生（前期課程）も一緒に取り組んでいける内容も取り入れてくれるとありがたいと思っています。締めくくりと開拓の2つを取り組む重要な役割であることを自覚しながら精一杯活動してください。

<11月の予定>

11月 8日（水）	地生連情報交換会 19時～
10日（金）	進路写真撮影（3年生）
13日（月）	定期考査前放課後学習会 17日まで
14日（火）	高校訪問（2年）
	PTA あいさつ運動
	PTA 運営委員会
15日（水）	授業研究報告会
20日（月）	令和6年度入学説明会
21日（火）	定期考査④ 24日まで

